

「SDGs」とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



シンスリー株式会社はSDGsの趣旨に賛同することを宣言します。

弊社は福祉や農業など幅広い事業を通じて、ひとりひとりが社会に感謝し、社会の一員として活躍できる人材に成長し地域社会に貢献できる活動を行っています。この取り組みは、地域の雇用創出と、経済・環境・社会の持続的な発展に寄与し、事業を通じたSDGsの達成に貢献することを目指します。

「
宣
言
」

代表取締役 森下 修二

弊社における 「SDGs」の取組み

ACTION.01

就労支援による一般就労への移行支援



シンスリーでは、障がい者就労継続支援事業所として、段階的な就労支援を行っています。就労経験についても、農業、食品加工、機械加工など企業実務に近い経験を積むことができ、一般就労につながる創意工夫を行っています。

ACTION.02

農業と福祉の連携



シンスリーでは、障がい者就労継続支援事業所として、段階的な就労支援を行っています。その際、利用者の特性に合わせた支援に農業実務を取り入れることで、自然に触れながら職業経験を積むことができます。

ACTION.03

減農薬・無農薬の取組み



栽培する農作物の減農薬・無農薬に取り組むことで、自然環境の保護に努めています。